【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公開番号】特開2005-163610(P2005-163610A)
【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)
【年通号数】公開・登録公報2005-024
【出願番号】特願2003-402809(P2003-402809)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｌ　1/14　(2006.01)
Ｃ２３Ｃ　28/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｌ　1/18　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　3/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　33/34　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　53/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｌ　1/14　Ｂ
Ｆ０１Ｌ　1/14　Ｅ
Ｃ２３Ｃ　28/00　Ｂ
Ｆ０１Ｌ　1/18　Ｍ
Ｆ０１Ｌ　1/18　Ｎ
Ｆ１６Ｃ　3/02
Ｆ１６Ｃ　33/34
Ｆ１６Ｈ　53/06

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月10日(2006.11.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
　又、軸及び転動体は、網状の回転容器に入れて、自転させながら公転させる事により、軸の外周面及び転動体の転動面に、量産性に優れた方法により均一な摩耗低減層を有する表面処理層を形成できる。例えば、図９に示す様に、複数の軸５、５を、回転容器であるステンレス網製のバレル容器１７に入れた状態で、このバレル容器１７の両端部に結合した軸部１８、１８を図示しない固定の部分に回転自在に支持し、これら軸部１８、１８を所定の方向に所定の速度で回転させる事により、上記各軸５、５を、自転させながら公転させる。この様な方法により、これら各軸５、５の外周面に、量産性に優れた方法により均一な摩耗低減層を有する表面処理層を形成し易くできる。